

あとがき

東京では 173 年ぶり、大阪では 282 年ぶり、名古屋では何と 932 年ぶりだそうです。5 月 21 日朝、金環日食が観測されました。日本では竹島で最も早く観測され、福島県南相馬市までのベルト上の広い地域で観測が可能となり一大イベントになりました。日食には皆既日食、金環日食、部分日食がありますが、太陽が月に完全に覆い隠されるのが皆既日食、月のまわりに太陽がリング状にはみ出すのが金環日食です。今朝、出勤中に金環日食に遭遇しました。皆既日食と違い金環日食では太陽が完全に隠されませんのでまぶしくて直接見ることはできませんでしたが、飛ぶように売れたという日食専用眼鏡でまさに金色に輝く金環を見ることができました。感動でした。子どもの頃、プラスチックの黒い下敷きで日食を観測したことを思い出しました。東京で次の金環日食が観測できるのは 300 年後だそうです、どうしても見てみたい方は 18 年後の 2030 年 6 月 1 日に北海道でご覧になれますのでお楽しみに。

さて、今月号の特集は「診療ガイドラインのエッセンスとその活用法」です。さまざまな疾患で診療ガイドラインが整備されるようになっていますが、重要なのはその活用法です。特集では各疾患のエキスパートにその活用法をまとめていただきました。Current Article は暁 清文教授の「突発性難聴の内耳低温療法」です。新しい独創的な治療法について基礎的および臨床的視点から解説していただきました。目でみる耳鼻咽喉科は「内視鏡下鼻内手術が奏効した再発性前頭洞嚢胞の 1 例」、原著は「頸部軟部組織内を移動し摘出に難渋した魚骨異物の症例」と「自家耳介軟骨を用いた耳小骨再建の長期成績」と読み応えがあります。今月の鏡下囁語は飯沼壽孝先生の連載第一弾「Menière の原著と 19 世紀の変遷：第 1 編 Menière の以前」です。Menière 以前の耳科学の進歩についての理解が深まります。ロマンあふれる天体ショーと対比しながら耳科学の歴史的歩みに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

(小川 郁)

編集顧問

佐々木 好 久
曾 田 豊 二
坂 井 真
竹 中 洋
八 木 聡 明

編集委員

吉 原 俊 雄
小 川 郁
丹 生 健 一

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (第 84 巻 第 7 号)
2012 年 6 月 20 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

発 行 株式会社 医学書院
代 表 者 金原 優

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5%)

(2012 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税・送料込)
冊子版/通常 41,160 円 冊子版/個人特別割引 38,430 円
電子版/共有 47,400 円 電子版/個人特別割引 38,430 円
冊子+電子版/共有 52,400 円
冊子+電子版/個人特別割引 43,430 円)

・医学書院ホームページ(インターネット)は
Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/> です。
・「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」のページは
<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jikotokei/> です。

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710 (担当 西塚・安部)
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
ファクシミリ (03) 3815-7802 (編集室)
E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp
振替口座 00170-9-96693 番
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** <社出版者著作権管理機構 委託出版物>
- ・ 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (社)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。